

Ⅲ. 実施手続

1 事前準備

(1) 受験手続

当社の各委員会の主催する検定試験を受験するためには、個人申込と団体申込の2通りの申込方法があります。また、個人申込の場合、公開試験と随時試験があります。それぞれの申込方法は次のとおりであります。

申込区分	個人申込		団体申込
	公開試験	随時試験	団体受験
試験区分	受験者本人が当社の各委員会に申し込みを行い、同委員会が定める試験日と試験会場において実施する試験。	各委員会が認めた試験会場において、随時実施する試験。試験会場により、開催日時が異なる。	任意の団体（学校等教育機関、企業等）の担当者が、同団体での受験者を取りまとめ、その団体の所有する施設を試験会場として試験を実施。
申込先	当社認定試験事務局	随時試験実施会場 ※当社ホームページに掲載	当社認定試験事務局
申込方法	インターネット、または郵送による申込。同時に当社の指定する方法にて受験料の支払い手続きを行う。	随時試験実施会場の指定する方法にて受験申込、及び受験料の支払をする。	会場申請を行い、認定会場と指定(注)された後、インターネットによる受験申込。同時に当社の指定する方法にて受験料の支払い手続きを行う。

(注) 団体受験の場合、その団体の所有する施設を試験会場とし、また同団体の担当者が試験監督を行うため、当該団体は「会場申請」を事前に行い（当社の各委員会の審査を受け）、「認定会場」として指定される必要がある。

(2) 問合せ窓口

各申込方法における問合せ窓口は次のとおりであります。

申込区分	個人申込		団体申込
	公開試験	随時試験	団体受験
問合せ窓口	当社認定試験事務局	随時試験実施会場 ※当社ホームページに掲載 ※不明な場合は当社認定試験事務局にて対応	当社認定試験事務局
問合せ先	当社認定試験事務局 Tel:0120-031-749 E-mail:info@certify.jp	随時試験実施会場	当社認定試験事務局 Tel:0120-031-749 E-mail:info@certify.jp

(3) 出願期間

各申込方法における出願期間は次のとおりであります。

申込区分	個人申込		団体申込
試験区分	公開試験	随時試験	団体受験
出願期間	公開試験日の約3ヶ月前～3週間前まで。 ※日程はホームページに掲載。	随時試験実施会場により異なる（約1ヶ月前が目処）。	試験実施予定日の当日～2週間前まで。 ※試験により異なる。

(4) 受験料

当社の各委員会の主催する検定試験の2018年度の受験料は次のとおりであります（金額は全て税込、日本国内価格。海外で実施する試験については個別に設定）。

※記載の受験料（税込）は2019年9月30日までの価格となります。

<情報処理能力認定委員会>

情報処理技術者能力認定試験	1級	6,500円
	2級	5,800円
	2級1部	2,900円
	2級2部	2,900円
	3級	5,100円
C言語プログラミング能力認定試験	1級	7,600円
	2級	6,200円
	3級	5,100円
Java™プログラミング能力認定試験	1級	7,600円
	2級	6,200円
	3級	5,100円
ワードプロセッサ技能認定試験	1級	7,100円
	2級	6,000円
	3級	4,900円
	4級	4,200円
ジュニア・プログラミング検定	Gold	2,900円
	Silver	2,700円
	Bronze	2,500円
	Entry	無料
実践Java™技術者試験	Expert	10,800円
	Specialist	7,400円

<ソフトウェア活用能力認定委員会>

Excel®表計算処理技能認定試験	1級	7,900円
	2級	6,800円
	3級	5,800円
Word 文書処理技能認定試験	1級	7,900円
	2級	6,800円
	3級	5,800円
Access®ビジネスデータベース 技能認定試験	1級	7,900円
	2級	6,800円
	3級	5,800円
PowerPoint®プレゼンテーション 技能認定試験	上級	6,900円
	初級	5,800円
Illustrator®クリエイター能力 認定試験	エキスパート	8,400円
	スタンダード	7,400円
Photoshop®クリエイター能力 認定試験	エキスパート	8,400円
	スタンダード	7,400円

<Web 利用・技術認定委員会>

Web クリエイター能力認定試験	エキスパート (上級)	7,300円
	スタンダード (初級)	5,700円
ネットマーケティング検定	—	5,800円
ホームページ制作能力認定試験	—	4,000円

<ホテル実務能力認定委員会>

ホテル実務技能認定試験	上級	6,900円 ※
	上級科目別	4,100円 ※
	初級	6,300円 ※
	初級科目別	3,700円 ※

※団体受験のみ

<コミュニケーション能力認定委員会>

コミュニケーション検定	上級	4,600円
	初級	2,700円
ケア・コミュニケーション検定	—	4,800円 ※1
ケア・コミュニケーション アセスメント試験	—	3,200円 ※1
営業力強化検定®	—	4,900円 ※1
営業力強化検定® WEBテスト	—	2,900円 ※1
実践日本語コミュニケーション検定	ペーパー試験	4,900円
	Web試験	4,300円 ※2
	アセスメント 試験	2,100円 ※2
実践日本語コミュニケーション検定 ・ブリッジ	ペーパー試験	4,900円 ※2
	Web試験	4,300円 ※2
	アセスメント 試験	2,100円 ※2

※1 団体受験のみ

※2 日本国内においては団体受験のみ。海外で実施する試験については個別に設定

<著作権検定委員会>

ビジネス著作権検定®	上級	7,800円
	初級	5,000円
	BASIC	4,100円 ※
教育著作権検定	—	5,000円 ※

※団体受験のみ

<コンプライアンス検定委員会>

ビジネスコンプライアンス®検定	上級	8,000円
	初級	5,500円
	BASIC	3,200円 ※

※団体受験のみ

<ジュニア・チアダンス検定委員会>

ジュニア・チアダンス検定	1級	3,240円 ※
	2級	3,240円 ※
	3級	2,700円 ※
	4級	2,160円 ※
	5級	2,160円 ※

※団体受験のみ

2 試験実施

(1) 試験の実施・運営

当社の各委員会の主催する検定試験の実施・運営については、試験ごとに「試験実施マニュアル」を作成し、試験実施担当者に配布（ホームページからダウンロード）しております。試験実施担当者は、「試験実施マニュアル」に従い試験を実施・運営します。

なお、「試験実施マニュアル」における試験の実施・運営に関する記載項目、及び内容は次のとおりであります（試験によって記載内容に違いがあります）。

記載項目	記載内容
運営組織と担当者の役割	<ul style="list-style-type: none">・運営組織についてサーティファイ認定試験事務局と実施担当者、試験監督者、試験監督補助者、誘導担当者の関係。・上記各担当者の役割。
試験の構成、実施形態等	<ul style="list-style-type: none">・試験の構成（級構成、合格基準、試験時間、退室可能時間等）一覧。・試験実施形式、実施形態、実施環境（コンピューターを利用する試験の場合）。・実施期間（実施期間に定めのある試験の場合）。
試験準備 （資材到着、会場設営等）	<ul style="list-style-type: none">・資材の受取、内容確認、試験日までの資材保管。・試験会場（教室）の決定。・試験監督者、試験監督補助者、受付、誘導担当者等の選任。・試験実施タイムテーブルの確認。・受験者リスト作成、会場掲示物作成。・コンピューター環境の確認（該当する試験の場合のみ）。
試験当日の運営	<ul style="list-style-type: none">・会場（教室）の設営。・試験実施の進行手順。・試験終了後の作業（会場復元）。・実施の留意点（下記の対応）。 ※交通機関遅延等による試験開始時刻の変更、試験の中止。 遅刻者、急病人、不正行為、トイレ退室、途中退室等への対応。 問題冊子の落丁、乱丁、印刷不鮮明等の対応。 災害時の対応。
試験終了後の資材の返送	<ul style="list-style-type: none">・試験実施形態別の返送方法、返送物、返送時の留意点。・不要資材の廃棄。

(2) 交通機関遅延等対応方針

各試験区分における対応方針は次のとおりであります。

試験区分	公開試験	随時試験	団体受験
交通機関遅延等の対応方針	試験会場の運営責任者はサーティファイ認定試験事務局に連絡をし、同事務局の指示に従い、開始時間及び終了時間を変更し試験を実施する。	試験会場の運営責任者の判断のもと、開始時間を変更し試験を実施する。また、その場合、サーティファイ認定試験事務局にその旨の報告をする。	
災害発生時の対応方針 (試験日前)	サーティファイ認定試験事務局の判断のもと、中止または延期の措置をとる。	試験会場の運営責任者の判断のもと、中止または延期の措置をとる。また、その場合、サーティファイ認定試験事務局にその旨の報告をする。	
災害発生時の対応方針 (試験実施中)	試験実施中に災害が発生した場合、試験会場の運営責任者はサーティファイ認定試験事務局に連絡することなく、受験者の安全の確保のため最善の方法をとることとする。 その後、サーティファイ認定試験事務局は試験の中止または延期の措置をとる。		

(3) 障がい者等への配慮措置

各検定試験において、申込時等事前申請があった場合に配慮する「障がい者特別措置制度」を設けております。

これまでに対応した特別措置の例は次のとおりであります。

対象者	特別措置の対応例
肢体障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・試験時間の延長。 ・車椅子の持参使用。 ・試験室入り口までの付添者の同伴。
視覚障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・試験時間の延長。 ・試験問題冊子の拡大コピーを配布。 ・拡大鏡等の持参使用。 ・照明機器等の使用。 ・試験室入り口までの付添者の同伴。
聴覚障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・注意事項等の文書による配布。 ・試験室内の座席を前列に指定。 ・補聴器の持参使用。

3 事後対応等

(1) 試験結果に関する情報

当社の各委員会が主催する検定試験においては、合格・不合格にかかわらず受験者全員に対し試験の結果帳票を発行しております（合格者には認定証も発行）。

結果帳票には「認定基準」「合格基準」「分野別得点率（または正答率）」「合否」「出題範囲（不合格者のみ）」等を記載しております（一部の試験を除く）。

また、一般情報として、年度当初に試験別の累計受験者数、合格率を各検定試験のホームページにて掲載するとともに、ビジネス著作権検定®及びビジネスコンプライアンス®検定、コミュニケーション検定においては公開試験受験者の「業種」「職種」の割合等をパンフレット等に掲載しております。

なお、団体受験の場合、実施担当者に対し受験者ごとの合否と得点率（または得点）の記載された「試験結果一覧」を発行しております。併せて以下の検定試験については、試験結果分析、及び指導方法の改善等の参考となるよう、受験者ごとの「問別正答状況一覧」を発行しております。

団体受験の担当者に「問別正答状況」を開示している試験	<ul style="list-style-type: none">・情報処理技術者能力認定試験・C言語プログラミング能力認定試験（2級、3級）・Java™プログラミング能力認定試験（2級、3級）・ネットマーケティング検定・ホテル実務技能認定試験・コミュニケーション検定・ケア・コミュニケーション検定・ケア・コミュニケーション アセスメント試験・営業力強化検定®・ビジネス著作権検定®・ビジネスコンプライアンス®検定・実践日本語コミュニケーション検定
----------------------------	--

(2) 試験問題と正答

試験問題及び正答については公表しておりません。

なお、以下の試験については公開試験後、当該検定試験の受験者に対し正答及び解説をホームページにて開示しております。

正答・解説をホームページで開示している試験	<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション検定・ネットマーケティング検定・ビジネス著作権検定®・ビジネスコンプライアンス®検定
-----------------------	---

(注) 正答・解説を確認するためにはIDとパスワードが必要となります。

(3) 苦情等の対応窓口

試験内容、及び実施運営等についての苦情の対応窓口は次のとおりであります。

苦情等の対応窓口	当社（認定試験事務局） Tel:0120-031-749 E-mail:info@certify.jp
----------	---